



群馬県出身の「葉画家」が下仁田ネギをPR 都内で「下仁田ネギ」の絵画展が開催！

群馬直美展「ネギの一生と葉っぱたちの一年」

- 期日：2018年12月21日(金)～2019年1月27日(日)
- 場所：国営昭和記念公園 花みどり文化センター ギャラリー1
- 主催：国営昭和記念公園
- 内容：葉画家・群馬直美の「伝統農法 下仁田ネギ」5作品等の展示

■ 都内で「伝統農法 下仁田ネギ」連作を展示！

高崎市出身(立川市在住)で、テンペラ画技法を用いて身近な葉っぱ等を実物大で描く「葉画家」である群馬直美さんの絵画展が、東京都立川市の国営昭和記念公園内にある花みどり文化センターで開催されました。この絵画展は「ネギの一生と葉っぱたちの一年」をテーマに開催され、生まれ故郷である群馬県の名産品「下仁田ネギ」や、ハナミズキ・ウメ・ナス・ビワ等の葉脈や表面の毛、土粒まで見逃すことなく原寸大で超精密に描いた57点が展示されています。

下仁田ネギの種まきから収穫までの「ネギの一生」を描いた「伝統農法 下仁田ネギ」連作は、実際に群馬県農政部から紹介してもらった下仁田町の生産者を訪れて描きました。取材は2016年の2月から月に1回程度行われ、3年の月日を費やした力作となっています。

今回展示された「伝統農法 下仁田ネギ」連作は、「2月の苗床ネギ・4月の仮植えネギ・7月の植え替えネギ」・「12月の収穫ネギ」・「2月の枯れ葉ネギ」・「4月のネギの花」・「6月の種取り用のネギ坊主」の5作品で、それぞれの作品に日記形式のエッセイを添えて展示されていました。これらの「伝統農法 下仁田ネギ」連作は、来年7月のロンドンで開催される英国王立園芸協会主催の植物画展に出展が決定しているとのこと。

今回の会期中には、作者自身による「下仁田ネギに捧ぐ」ダンスも披露されました。葉っぱの命、人の命、ネギの命、世界を形づくる生命そのものの純粋な輝きを、静と動の二つの側面から味わうイベントで、下仁田ネギ生産者からのコメントと作者自身が実際に取材した感想や下仁田ネギに対するこだわりを熱く語るトークショーも行われ、作者だけでなく参加者も一緒にダンスに参加する賑やかなイベントでした。



国営昭和記念公園 花みどり文化センター



「伝統農法 下仁田ネギ」5作品



「絵画展のポスター」及び会場に飾られた下仁田ネギ



作者自身による「下仁田ネギに捧ぐ」ダンス